

1-2 教員養成の目標を達成するための計画

上記に掲げている保育学科の「卒業の認定に関する方針（ディプロマ ・ ポリシー）」を達成するため、保育学科・通信教育部保育学科の「教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム ・ ポリシー）」を次のとおり定めている。

総合教育科目では、豊かな人間性と深い教養を身につけるため、人文科学系、社会科学系、自然科学系、語学関連の科目や日本伝統文化（茶道、華道）など多様な科目を設置する。

専門科目では、幼稚園教諭 2 種免許状と保育士資格、社会福祉主事任用資格取得に関する科目を設置し、専門的な知識と方法論を学ぶ。コミュニケーション能力、実践的指導力、プレゼンテーション能力、課題解決能力などを養うために、ゼミ形式の演習科目を設置する。

このカリキュラム ・ ポリシーのもと、幼稚園教諭 2 種免許状、保育士資格、社会福祉主事任用資格の取得に必要な法令上の科目をすべて開設していることはもちろん、法令上の要請を超えた豊富な理論科目、実技・実習科目を設置し、教育効果を高め、学生の資質向上に努めている。

授業科目以外にも、学生の資質向上のためのさまざまな取り組みを行っているところに本保育学科の特色がある。

それには、新入生の「フレッシュマン・キャンプ in Campus」における 2 年生による保育学科紹介・歓迎行事、保育学科オープンキャンパスでの学生による保育学科の学び紹介イベント「あんよがじょうず」、学外からの依頼を受けて実施する近隣の長居植物園での「七夕まつり」（令和 3 年度はコロナにより参加なし）など多彩な行事に取り組むことで教育効果を高め、教員養成の資質向上に努めている。

これらの各種行事は、教員の後方支援を得ながらも、すべて学生自身が企画し、運営し、出演しているところに大きな特色があり、これらの取り組みによって、学生たちは自主性・自律性、コミュニケーション能力や対人関係能力を培うとともに、さまざまな保育場면을体験し、保育技術の向上、教育実習・保育実習に向けた予行演習、保育者としての心構えの醸成につながっている。

以上の様なカリキュラム面での取り組み、各種行事における取り組みにより、学生の資質向上に努め、学則第 1 条の 2 に掲げた人材養成に関する目標の達成をめざしている。